

苦痛のスクリーニング

緩和ケアのスクリーニングとは

当院で治療を受けているがん患者さんの「からだのつらさ」や「気持ちのつらさ」、また生活で困っていることなどを、院内で統一したスクリーニング用紙「生活のしやすさに関する質問票」に記入していただくことで、そのつらさに対して個別に迅速に対応し緩和ケアを提供します。

痛みや倦怠感などからだの症状、気がかりや不安など気持ちのつらさ、仕事や生活、病気や医療費の心配など患者さん、家族の方が困っていることをいち早く相談できることを目的に実施します。

対象患者

当院でがんの治療をうけている外来および入院治療中の患者さん

方法

- 1) 「生活のしやすさに関する質問票」をお渡しします。
- 2) 質問票の各項目に回答していただきます。ご本人による自記が難しい場合は、看護師が記入のお手伝いをいたします。
- 3) 外来通院の場合は外来受診ごと、入院治療中の場合は1週間に1回実施をいたします。